学校番号	402

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合(古典)	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「国語総合　改訂版　古典編」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典文法の学習が基本となります。ひとつづつしっかり習得してください。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかり身に付けてください。
・予習として本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・日本の近代以前の様々な文章を読み、内容を把握し、理解する能力を高める。そのために文法の理解と古典常識の把握。漢文の基本的な読みや句法を学ばせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	古文入門	教材 説話『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 文法等・・・歴史的仮名遣い・文語動詞の基礎	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身につけている。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
前期	歌物語・随筆	教材 『伊勢物語』 「筒井筒」「東下り」 『徒然草』 「高名の木登り」	○	◎	○	a:　文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
前期	漢文入門	漢文とは・・・訓読・返り点・再読文字等 故事成語『漁父の利』	○	◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 b:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
後期	物語・日記	『伊勢物語』 「東下り」つづき 『土佐日記』 「門出」「忘れ貝」「帰京」	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 b:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

後期	漢文	「先従隗始」「蛇足」「朝三暮四」	○	◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 b:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:読む能力　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。